

いま 風 木曜日

■犬ぞり関連の映画や書籍
南極物語(1983年)南極観測隊のそり犬、タロとジロの実話映画化
バルト(1995年)病気ワクチンを運ぶそり犬のアニメ映画
極北に駆ける(植村直己著)冒険家による南極大陸横断の体験記
犬と、走る(本多有香著)日本人女性による過酷なレース体験記

群馬県みなかみ町での犬ぞり体験も大詰め。トレーナーの平井俊介さん(30)の指導で1人乗り挑戦中である。下りの左カーブで足を踏み外し、派手に転倒した。日本犬ぞり連盟(札幌市)によると、マッシャー(犬ぞり用)が転ぶと犬が体を痛める恐れがあり、転ぶのは厳禁だといふ。犬の負担を考え、コースを走るのは1日1回だけなので相棒も替わっている。ポーターコリーのミーガン(7歳、メス)、フェニックス(2歳、オス)、カブキ(3歳、同)の3頭だ。引き締まった「細マッチョ」な体をしている。上り坂に入った。犬の負担を減らすため、人間はその足場から降り、走って乗るを繰り返す。まさか雪の中で有酸素運動とは。一方、下り坂では少しずつブレーキを踏むが、これは加減が難しい。3頭は列を乱すことなく走る。上手に曲がれたら「ナイースー」、下りでスピードが出るころは「イージー(落ちて着いて)」と声をかけた。左に曲がる時は、体を左に



ようやく一人で犬ぞりを操ることが出来た。様になっている。(1月7日、群馬県みなかみ町の水上高原スキーリゾート) 岩佐謙撮影

犬ぞり

下 ■ 独り立ち編

相棒のため転べない

傾けつつ、遠心力で車体の右側が浮くのを抑えるため右足でそりをしっかり踏み込む。同時に左足でブレーキを踏むが、前回の失敗は、恐怖心に加え、足場とブレーキの距離感がつかめず、踏み損ねてバ

ランスを崩したためだ。その後は「もう転べない」と腹をくくったことやスピードになれたことで、足さばきをこなせるようになった。約1キロを走り抜きゴール。「ありがとう。転んでごめんね。

痛くなかった？」と普段は言わない類いの言葉が自然と出る。すると頭はつづらな瞳で甘えてきた。じゅん。平井さんは、犬ぞりなどドッグスポーツについて、「運動神経の良さより犬とのコミ

ユニケーション力が求められる」と言いつつ、しつけというより一緒に訓練して楽しむ感じで、犬と「ペット」以上の絆が生まれるのが魅力だ。この平井さん直伝の犬とのコミュニケーション術には、色々と考えさせられた。しばしば、「威嚇している」と評されてしまう自らの姿も、それを和らげるヒントがあったような気がする。目下、研究中である。(松崎美保)

犬と人の信頼関係

犬ぞりをはじめ、人と犬と一緒に楽しむスポーツを「ドッグスポーツ」という。人が投げたフライングディスクを犬が地上や空中でキャッチする「ディスクドッグ」のほか、音楽に合わせて人と犬と一緒に踊る「ドッグダンス」などがある。平井さんも行うディスクドッグでは、犬が人の上を跳び越えたり、人を踏み台にしてジャンプしたりと、犬の運動能力のほか、人との信頼関係が見どころだ。

犬ぞりを間近に見られる国内のイベントやレースとしては▽2月22～23日「Japan Cup 2020 第37回全国犬ぞり稚内大会」(北海道稚内市)▽2月29日～3月1日「第10回みなかみドッグスポーツフェスタ」(群馬県みなかみ町)などがある。



犬ぞり



ディスクドッグ(右は平井さん)



ただただ感謝です

記者 まつざき・みほ 昨秋、ボディーメイクの国内大会で優勝。韓国での世界大会は仕事と重なり辞退した。

* 次回(13日)は「スポーツ雪合戦④」。* 『でかける』は毎週木曜掲載。